

当院における IPMN 患者と他臓器悪性腫瘍との関連性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：（2026 年 4 月 21 日） ～ 2030 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

当院における IPMN 患者と他臓器悪性腫瘍との関連性について

〔研究目的〕

膵管内乳頭粘液性腫瘍 (intraductal papillary mucinous neoplasm, IPMN) と他臓器悪性疾患の合併はよく知られていますが、その詳細については不明な点が多くあります。そこで当院の IPMN 症例について他臓器悪性腫瘍との関係を中心に調査します。

〔研究意義〕

IPMN と他臓器悪性腫瘍との関連性を明らかにし、臨床的判断に用います。

〔対象・研究方法〕

2011 年 1 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日までに帝京大学医学部附属病院にて IPMN と診断された患者様。

診療情報が不十分で評価項目の測定が困難なデータ・IPMN の診断が最終的に否定された症例は除外します。

観察項目、調査項目、検査項目：

- ・背景(診断時年齢、性別、BMI、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、悪性腫瘍の既往の有無、家族歴)
- ・疾患背景(IPMN 診断日、IPMN の病変部位、IPMN subtype、嚢胞径、主膵管径、壁在結節の有無、High-risk stigmata や worrisome features の有無、腫瘍マーカー、手術の有無)
- ・疾患関連項目(他臓器悪性腫瘍の有無、癌種、悪性腫瘍診断日、病期、治療内容、多重癌の有無、転帰)

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 外科

〔個人情報の取り扱い〕

研究で使用する全ての情報は、研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付けて個人を特定できないように加工されます。これにより、対象者の秘密保護に十分配慮します。また、規定等に従い、情報は厳重に保管され、研究終了後に一定期間の保管の後に破棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 渋谷誠 職名 講師
所属： 帝京大学医学部 外科学講座
住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)